

新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえ、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき整備を進めている、新たなごみの資源化施設について、2021年12月の行政報告以降の進捗状況等を報告いたします。

1 事業の経過

1982年に稼働しました町田リサイクル文化センターの老朽化が進み、建替えが課題となっておりました。清掃工場の建替えにあたり、市民の皆様にご協力をいただき2006年10月に「ごみゼロ市民会議」を立ち上げました。

町田市のごみ処理についての、将来的な検討を行い、「家庭生ごみの全量資源化を計画的に進める」等の提言をまとめました。

その後、「町田市廃棄物減量等推進審議会」での審議を経て、2011年4月に「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を策定しました。

さらに、2013年4月に「町田市資源循環型施設整備基本計画」を策定し、焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設を一体的に整備すること、また、資源ごみ処理施設を市内に分散配置することを定め事業を進めております。

2 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

資源ごみ処理施設整備は、相原地区は2025年度、上小山田地区は2027年度の稼働に向け、関係者と施設の建設に関する協議及び調整を進めています。

相原地区につきましては、施設に隣接して整備する(仮称)大戸広場とともに、2022年2月28日に告示し、都市計画決定を致しました。現在、事業認可申請に向け、東京都と調整を行っております。

今後も地域のご理解を得ながら、整備事業を進めてまいります。

3 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）工事の進捗状況

町田市バイオエネルギーセンターは、施設の設計、建設から運営管理までを一括して事業者が実施するDBO方式で、2016年12月に契約を締結いたしました。以来、約5年に及び工事期間を経て、工場棟、管理棟が2021年12

月に完成し、2022年1月から本稼働しております。一部の外構工事についても3月末に完了いたします。

現在は、旧工場の解体工事の準備作業に着手しております。

工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めてまいります。

【施設整備の全体スケジュール】 (年度)

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
						現在 ↓			
設計	■								
第1期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事 ■ 造成工事								
第2期工事			工場棟建築工事・プラント工事 新管理棟建築工事				2022年1月～ ★ 施設稼働	運営開始	
第3期工事							■ 既存工場棟解体工事		
第4期工事							■ ストックヤード棟・外構工事		

【旧焼却施設解体工事写真】

